

## 香川県への予算要望に各法人、事業所から 16名が参加。現場の切実な声と要望発言！



11/7(月)「明るい民主県をきづく会」が県庁内において 202 年度予算要望についての対県交渉を行い、14 団体から雇用、医療・福祉、中小企業対策、教育、農業など 10 分野 82 項目の重点要望を提出し、香川民医連からは 16 名が参加し、それぞれの現場の切実な実態や県や国への政策・予算要望で以下の発言がされました。

【平和病院、協同病院の看護部門】 空床補償の早期確定、登録センターの広報強化、検査キットの確保、検査機器や発熱外来への補償。【介護事業部】 クラスターで営業停止となっても補助もない状況についての改善。【かがわ保健企画】 新型コロナウイルス感染症対応での保険薬局への助成金支払い、保険薬局の無料低額事業に関する要望

【へいわこどもクリニック】 高校生までの医療費無料化実現への要望など。【本部】 「原油価格・物価総合緊急対策」についての今後の対応などの要望が行われ、各担当部局からの回答があり、高校生までの医療費無料化については、「子育てに対する経済的支援については今後検討を急ぎたい」との前向きな発言がありました。



高松平和病院 横山 I C N



かがわ保健企画 白石理事長



高松協同病院 西瀬看護師



へいわこどもC 長谷川事務長



介護福祉部 藤本部長

対県交渉終了後、かがわ保健企画からは調剤薬局の無料低額診療事業の実施困難な要因のより詳しい説明と自治体独自の調剤処方費助成事業が実現されるまで、国保法 44 条の医療費減免の積極的活用の提案についての文書での回答を求める要望が県に出されました。